

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	あさがおねっと大和田（児発）		
○保護者評価実施期間	令和6年 4月 1日		～ 令和7年 3月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10人	(回答者数) 10人
○従業者評価実施期間	令和6年 4月 1日		～ 令和7年 3月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9人	(回答者数) 9人
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年4月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもの発達段階に応じた個別の支援及び小集団でのレクリエーション参加によるコミュニケーション支援	・個々の特性や発達段階に応じた（学習・トレーニング）に取り組んでいる。 ・感覚統合を促す活動に着目し、小集団での運動遊びやビジョントレーニング等を意識しレクリエーションの内容を企画し、活動を通してルールを守る事の大切さやコミュニケーションスキルの向上に積極的に取り組んでいる。	・子ども達同士が関りの中で、自主性・主体性が育まれるよう側面からの支援を行って行く等
2	一人一人の気持ちに向き合い信頼関係を手厚く重視している	・一人一人が安心して過ごせる場所となるよう、問題行動等に対しても、気持ちに寄り添い、何故こうなったかをしっかり聴きながら、どうしたらいいか共に考えるよう努めている。	・情緒の不安や気分の変化により意識を向け、子ども達が何を望んでどうなって欲しかったのかを聴きながらメンタルヘルスの向上にもつなげていきたい
3	保護者及び関連機関連携	・保護者からの相談（家庭や学校での困り感）に応じ、問題の解決や改善策に取り組んでいる。学校での問題点があれば、学校との連携を図り対応を行っている。	・子どものつまずきに気づき、保護者ニーズに応じていけるよう、関係機関との連携をさらに親密に図っていき、保護者の不安や悩みに対応し、安心していただけるよう努める。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	「ペアトレーニング」等や家族が参加できる場の提供及び情報提供を行い、子どもに対する家族の対応力向上につなげたい	・個々の保護者からの相談に対しては迅速に対応しているが、多くの保護者を対象とした研修やアドバイス、情報提供の取り組みが出来ていない	・今後は年間計画に親子で参加出来る取り組みなどを取り入れ、家族との交流を深めて行くよう努めたい
2	専門職による支援	・作業療法士・言語聴覚士・心理的支援などの専門職による直接支援が望まれるが、現段階では確保出来ていない。	・必要な人材が確保できるまでの間、現有の直接支援者が研修を重ね専門性につなげる支援に取り組んでいく。
3	休業日における長時間支援	・休業日は支援時間が長く（特に長期休暇）午前と午後の活動内容を課題になっている。	・長期休暇でしか出来ない支援もある為、多彩なプログラムを取り入れ支援を行い、また静と動との活動の取り組みを企画する。